

群馬県を含めた緊急事態宣言が解除になったになった今、私たちはどう行動すべきか

今月1日より緊急事態宣言が解除されましたが、次の第6波が来るリスクは高いので、急に緩める訳にはいかないことはご承知の通りです。従って、基本は取敢えずは今まで通りです。

これ以上私たちに出来ることはありませんが、もう少しの間これまでのやり方をさらに徹底しましょう。

但し、デルタ株が出てきて周り中に蔓延しきっていますので、もうどこにでも新型コロナウイルス感染者はいるという前提での行動が必要になります。もし自分が罹ってしまっても、他人にはうつさない、というような行動をとるといことです。これが我々スタッフの考える姿勢を変えるということなのです。

前月もお話しした通り、もともと8割は無症状か軽症者と言われている中で、我々は既にワクチン注射を2回済んでおりますので、自分自身の重症化リスクは更に低下していると思いますが、入所者に移してしまえば、それでは済みません。1/3位は亡くなくてもおかしくはない程の虚弱高齢者を抱えているということを私たちは忘れる訳にはいきません。

普通の風邪でも命に直結するような虚弱高齢者がゴロゴロ入所しているからです。

今、私たちがとるべき行動は、

- 1、「5日ルール」の継続。
- 2、部屋の十分な換気・食事は黙食・休憩時も含めたマスク着用と手指衛生の徹底。
- 3、職員自身の体調不良・職員家族の体調不良に当たっては、欠勤することをいとわない事、またその人を責めない事。

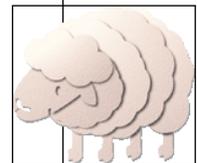
この3つを徹底することです。一人ひとりの努力が私たち全体の力になります。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。
私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。